

1月28日(土)

平成29年度 金沢学院大学 入学試験問題  
(一般入試I期<2日目>)

# 日本史

## I 注意事項

解答用紙に「日本史」と記入・マークしてから解答してください。  
問題は1ページから8ページまであります。  
問題は持ち帰ってもよいですが、コピーして配布・使用するのには法律で禁じられています。

## II 解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。例えば、

10
----

と表示のある問いに対して④と解答する場合は、下記の(例)のように解答番号10の解答欄の④にマークしてください。

(例)

解答番号	解 答 欄
10	① ② ③ ● ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩



問題は次のページからです。

第1問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

7・8世紀には、漢字の音・訓を組み合わせて日本語をあらわす万葉がなが発達していた。9世紀には、万葉がなの（ア）を簡略化した平がなや、漢字の一部をとった片かなが表音文字として用いられ、10世紀から11世紀にかけて字形もほぼ一定し、広く使用されるようになった。その結果、宮廷文芸としての和歌が再評価されるようになった。10世紀初めには『古今和歌集』が編集され、(A)六歌仙と呼ばれる優れた歌人が輩出した。また、物語として『竹取物語』、『伊勢物語』、『源氏物語』などが、日記として『土佐日記』、『蜻蛉日記』、『更級日記』などが、随筆としては『枕草子』が著されるなど、かな文学隆盛の時代となった。

美術工芸の分野でも国風化の傾向がみられ、貴族の住宅は（イ）と呼ばれ、建物内部は襖や屏風で仕切られ、これらには唐絵とともに大和絵も描かれた。屋内の調度品である経箱・手箱などには、蒔絵や螺鈿の技法による装飾が施された。書道においては優美な線を表した和様が発達し、(B)三蹟と呼ばれる名手が現われた。

また、藤原道長が建立した（ウ）、藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂など、(C)浄土教に関係した寺院が建立された。平等院鳳凰堂の本尊をつくった仏師（エ）は、寄木造の技法を完成し、末法思想を背景とする仏像の大量需要にこたえた。また、絵画では、往生しようとする人を阿弥陀如来が迎えに来る場面を示した（オ）もさかんに描かれた。

問1 文中の（ア）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□1

- ① 隸書体                      ② 草書体                      ③ 楷書体                      ④ 篆書体

問2 文中の（イ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□2

- ① 数寄屋造                      ② 武家造                      ③ 書院造                      ④ 寝殿造

問3 文中の（ウ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□3

- ① 法成寺                      ② 仁和寺                      ③ 醍醐寺                      ④ 法界寺

問4 文中の（エ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は□4

- ① 定朝                      ② 運慶                      ③ 康勝                      ④ 円空

問5 文中の（オ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は5

- ① 両界曼荼羅      ② 垂迹画      ③ 来迎図      ④ 涅槃図

問6 下線(A)として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は6

- ① 小野小町      ② 大友黒主      ③ 紀貫之      ④ 喜撰

問7 下線(B)として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は7

- ① 小野道風      ② 橘逸勢      ③ 藤原行成      ④ 藤原佐理

問8 下線(C)に関連した文章として**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。  
解答番号は8

- ① 円仁は『往生要集』を著して、念仏往生の教えを説いた。  
② 10世紀半ば、空也が人々に念仏をすすめて布教を行い、平安京の貴族や庶民の信仰を集めた。  
③ 慶滋保胤の『日本往生極楽記』をはじめ、多くの往生伝がつくられた。  
④ 藤原道長が法華経などを埋納した経塚として、金峯山経塚が有名である。

第2問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

(ア) 統から即位した後醍醐天皇は、まもなく親政を開始し、積極的に天皇の権限強化を推し進めた。一方、当時の幕府では執権(イ)のもとで内管領長崎高資が権勢をふるい、得宗専制政治に対する御家人の反発が高まっていた。幕府に不満を抱いていた後醍醐天皇は、この情勢を見て討幕の計画を進めたが、二度失敗し隠岐に流された。

しかし、反幕府勢力は幕府軍と粘り強く戦い、やがて後醍醐天皇が隠岐を脱出すると、天皇の呼びかけに応じて討幕に立ちあがるものが次第に増え、有力御家人足利高氏(のち尊氏)も幕府に背いて(ウ)を攻め落とした。関東で挙兵した(エ)もまもなく鎌倉を攻めて得宗の(イ)以下を滅ぼし、(オ)(元弘3)年、鎌倉幕府は滅亡した。後醍醐天皇はただちに京都に帰って、新しい政治を始めた。翌年、年号を建武と改めたので、天皇のこの政治を(A)建武の新政という。

問1 文中の(ア)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は9

- ① 世尊寺                      ② 大覚寺                      ③ 持明院                      ④ 青蓮院

問2 文中の(イ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は10

- ① 北条高時                      ② 北条義時                      ③ 北条時宗                      ④ 北条時行

問3 文中の(ウ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は11

- ① 大宰府                      ② 鎮守府                      ③ 鎮西探題                      ④ 六波羅探題

問4 文中の(エ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は12

- ① 赤松満祐                      ② 安達泰盛                      ③ 新田義貞                      ④ 三浦泰村

問5 文中の(オ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は13

- ① 1281                      ② 1297                      ③ 1333                      ④ 1392

問6 下線(A)で所領関係の裁判を担当した機関として適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は14

- ① 引付                      ② 評定所                      ③ 問注所                      ④ 雑訴決断所

問7 下線(A)で行われたこととして**適当でないもの**を、①～④の中から1つ選べ。

解答番号は 1 5

- ① 西面の武士を新設した。
- ② 諸国に守護と国司を併置した。
- ③ 大内裏の造営を計画した。
- ④ 鎌倉將軍府を設置した。

問8 下線(A)の後の情勢について述べた説明として**適当なもの**を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 1 6

- ① ひそかに幕府の再建を目指していた足利尊氏は観応の擾乱を機に関東にくんだり、新政権に反旗をひるがえした。
- ② 京都を制圧した足利尊氏は光明天皇を立て、幕府を開く目的のもとに当面の政治方針を明らかにした建武式目を発表した。
- ③ 北畠親房の軍勢に敗れた後醍醐天皇は京都を逃れ、九州に落ちのびて正当の皇位にあることを主張した。
- ④ 北朝側では足利尊氏が征夷大將軍に任ぜられ、弟の足利持氏と政務を分担して政治を行った。

第3問 次の文章A～Eを読み、下の問いに答えよ。

- A 徳川家康は、天皇の譲位・即位まで武家の意向に従わせるほどの権力の強さを示した。公家衆法度を出したのに続いて(A)禁中並公家諸法度を制定して、朝廷運営の基準を明示した。幕府は(ア)らに朝廷を監視させたほか、撰家に朝廷統制の主導権をもたせ、武家伝奏を通じて操作した。
- B 平和が続く中で重要な政治課題となったのは、戦乱を待望する牢人や、秩序におさまらない「(イ)」の対策であった。兵学者(B)由井正雪の乱がおこると、幕府は大名の末期養子の禁止を緩和し、牢人の増加を防ぐ一方、江戸に住む牢人とともに(イ)の取締りを強化した。
- C 徳川家康は、将軍職が徳川氏の世襲であることを諸大名に示すため、みずから将軍職を辞して子の徳川秀忠に将軍宣下を受けさせた。家康は駿府に移ったが、大御所として実権は握り続け、豊臣氏が建立した京都(ウ)の鐘銘を口実に、(C)大坂冬の陣で豊臣方に戦いをしかけた。
- D 島原の乱を鎮圧したのち、幕府は(D)ポルトガル船の来航を禁止し、さらに平戸の(エ)商館を長崎の出島に移し、(エ)人と日本人との自由な交流も禁じて、長崎奉行が厳しく監視することになった。こうして日本は、いわゆる鎖国の状態になった。
- E ポルトガル商人は(オ)を根拠地に中国産の生糸を長崎に運んで巨利を得ていたが、幕府は(E)糸割符制度を設けて、糸割符仲間と呼ばれる特定の商人らに輸入生糸を一括購入させ、ポルトガル商人らの利益独占を排除した。

問1 文中の(ア)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は17

- ① 関白                      ② 奏者番                      ③ 大目付                      ④ 京都所司代

問2 下線(A)の第7条に「武家の官位は、公家当官の外為るべき事」という規定がある。この規定の解釈として次の文が正しければ①、誤っていれば④を選べ。

解答番号は18

【解釈】 武家の官位は公家に与えている官位とは別の枠で与える。

問3 文中の(イ)に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は19

- ① かぶき者                      ② 渡世人                      ③ 無宿者                      ④ 宗教者

問4 文中の（ウ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 20

- ① 建仁寺                      ② 大徳寺                      ③ 方広寺                      ④ 知恩院

問5 文中の（エ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 21

- ① スペイン                      ② ロシア                      ③ イギリス                      ④ オランダ

問6 文中の（オ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 22

- ① マニラ                      ② マラッカ                      ③ バタヴィア                      ④ マカオ

問7 文中の「糸割符仲間」は最初3都市の商人によって構成された。次の都市の中で、この3都市に**含まれないもの**はどれか。①～④の中から1つ選べ。解答番号は 23

- ① 長崎                      ② 京都                      ③ 博多                      ④ 堺

問8 **下線(A)～(E)**を年代の古い順に並べた組み合わせとして適切なものを、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 24

- ① (C) → (A) → (E) → (B) → (D)                      ② (E) → (A) → (C) → (B) → (D)  
③ (A) → (E) → (C) → (D) → (B)                      ④ (E) → (C) → (A) → (D) → (B)

第4問 次の文章を読み、下の問いに答えよ。

政府は、(A)明治十四年の政変の際に、天皇と政府に強い権限を与える憲法を制定する方針を決めていた。政府の(B)憲法草案作成の作業は、国民に対しては極秘のうちに進められ、ドイツ人顧問（ア）らの助言を得て、伊藤博文を中心に（イ）らが起草に当たった。この草案は、（ウ）で審議が重ねられ、（エ）年2月11日、大日本帝国憲法（明治憲法）が公布された。また、翌年には(C)日本最初の衆議院議員総選挙が行われ、第1回帝国議会が開かれた。

問1 文中の（ア）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は25

- ① クラーク                      ② フェノロサ                      ③ ボアソナード                      ④ ロエスレル

問2 文中の（イ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は26

- ① 井上毅                      ② 江藤新平                      ③ 大久保利通                      ④ 後藤象二郎

問3 文中の（ウ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は27

- ① 正院                      ② 枢密院                      ③ 企画院                      ④ 貴族院

問4 文中の（エ）に適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は28

- ① 1873                      ② 1881                      ③ 1889                      ④ 1894

問5 下線(A)の際に政府から出されたものとして適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。  
解答番号は29

- ① 漸次立憲政体の詔                      ② 国会開設の勅諭  
③ 民撰議院設立の建白書                      ④ 戊申詔書

問6 下線(A)と同じ年に起こった事件として適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。  
解答番号は30

- ① 開拓使官有物払下げ事件                      ② 江華島事件  
③ 共和演説事件                      ④ 日比谷焼打ち事件

問7 下線(B)に関連して、民間でも憲法私案の作成が行われたが、植木枝盛が作成したものとして適切な語句を、①～④の中から1つ選べ。解答番号は 31

- |               |             |
|---------------|-------------|
| ① 「五日市憲法草案」   | ② 「日本憲法見込案」 |
| ③ 「東洋大日本国国憲按」 | ④ 「日本国憲按」   |

問8 下線(C)に関連した説明として適切なものを、①～④の中から1つ選べ。  
解答番号は 32

- ① すでに憲法発布直後に黒田清隆首相が、政府の政策は政党の意向によって左右されてはならないという国体明徴声明を出していた。
- ② 日本最初の衆議院議員総選挙では旧民権派が大勝し、第1回帝国議会では立憲自由党や立憲政友会などの民党が衆議院の過半数を占めた。
- ③ 第1回帝国議会が開かれると、第1次山県有朋内閣は、予算問題で政費節減・民力休養を主張する吏党に攻撃された。
- ④ 第2回衆議院議員総選挙に際して、第1次松方正義内閣は内務大臣品川弥二郎を中心に激しい選挙干渉を行った。

